

北見武道通信

令和5年7月20日 00648号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】第27回北見市総合武道祭公開演武紹介!



6月10日(土) 武道館弓道場で行われた武道祭は、外国人留学生演武の他に、北見市弓道会員による演武や弓道競技が行われました。稽古を積んだ熟練者が10人立ち射場で、5人一組とし、同時に二組が的中数を競う(2射場審査方式)や3人一組で三組が同時^{てきちゅうすう}に的中数を競う(3射場審査方式)を行いました。射場には「パーン」と的中音が響き会場は盛り



り上がっていました。また、同時刻、武道の広場エントランスの一コーナーでは子供縁日が開かれ、武道祭に訪れた子供から大人までが^{でみせ}出店を囲みクジ引きなどを楽しみました。〈佐藤〉

4年ぶりの剣道大会が開催!

7月9日(日)

「第68回北見地方剣道大会」

が道立北見体育センターで開催されました。地元オホーツク管内や道東・道北から約6千人の小中高生が集まり会場は熱気に包まれました。「開会式」では、北見剣心館小学5年生の伊藤敬之^{けいのすけ}甫くんが全選手を代表して「選手宣誓」を堂々で行いました。尚、北見の成績は、団体戦高校女子の部で北見柏陽高校が優勝しました。〈佐藤〉



北見大東流合気武道会合気武道50周年記念誌 基本編紹介

28.1.1 持ちたる棒の両側に両手をかけ抱みたるとき
受は左右の手で棒を両脇の幅で握み、取を攻めようとする。

- その隙間取は受の両手の間の棒を上から握み
- 棒を少し引いてそれを受の肩先に押し上げて(それつを)受の腹部へ落とし
- 受の両踵の方向に押し崩す(崩したる後で押し倒す)

